

住民登録

5月1日現在

前月比
人口 72,530(+52)
男 34,630
女 37,900
世帯数 20,775(+78)

大 報

おおだて

6月号 (No.263)

編集と発行 — 大館市役所
(電話)42-1212
発行年月日 — 昭和54年6月1日
発行日 — 毎月1日

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかったり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。

昭和43年3月1日第3種郵便物認可(1部5円)

富山新市政がスタート

清新と対話の

市政をめざして

4月22日の統一地方選挙で畠山市長が誕生、新市政がスタートしました。

5月1日午前9時40分に市職員の拍手に迎えられ初登庁し、10時から市議場で就任のあいさつに立った畠山市長は「市職員の皆さんと共に手を携え、前市長、前々市長の築きあげたものに新しさを補い、新たな大館をめざして頑張りたい。そのためには展望と飛躍をつくり出す新しさと、市長と職員さらには市民との対話の機会を多くつくる必要があり『清新と対話の市政』を推進したい」と述べました。

この日に先だち、4月28日午前10時には石川前市長の退任式が同議場で行われ、石川前市長は「長い間私への協力がありとう。新市長にも私同様に協力され市のため頑張ってもらいたい。今後は一市民として我郷土大館が益々発展することを祈っている」と述べ、全職員が見送るなかを、拍手に送られながら、大きく手をふって通いぬれた市庁舎を後にしました。12年の長い間、本当にご苦労さまでした。

また、5月19日午前10時には、新旧市長の事務引継ぎが行われ、市勢発展をめざしたバトンが無事手渡され、新市政は好調にスタートしました。



▲ 花束を抱えて、12年間通いぬれた庁舎を後にする石川前市長
▶ 職員に迎えられて初登庁する畠山新市長



就任のごあいさつ

市民が主人公の市政を

市長 畠山 健治郎



多くの市民の期待を両肩に、はじめて市政を担当することになりました。浅学非才、若輩な私です。どうぞ市民の皆様のお力をおかしく下さいませよう、まずもってよろしくお願い申し上げます。

＜不況から生活と経営を守るために＞

長引く不況で、市民は大変な苦境にあえぎました。ようやく好転の兆しが見えて来たとは言えまだまだ予断は許されません。

過剰米を抱えて農業界は大きく揺れています。米に依存し過ぎた農政の貧困が招いた結果ですから、大胆に反省を求め、農政の方向転換を国や県に求めて行きますが他に頼るだけではなく、自からの施策を農業団体と協調

して具体的に取組んで参りたいと存じます。

また、木材林業もひと頃の危機的な状況は脱したとは言いますが、まだまだ不安が続いています。百年の大計に立った緑の郷土づくりの上に、しっかり土台をおく木材産業発展策を積極的にすすめて参りたいと存じます。

鉱業界も有資源を計画的に活用する産業として守り、さらに、発展させるために鉱業基本法の制定に向けて全力をあげなければなりませんし、鉱山の活力があるうちに関連産業の具体化に最大の努力をして参りたいと存じます。

商業界の発展は、地場産業界との関連性は否定出来ませんが、他力依存型ではなく、積極的な発展を求めるためには、都市計画や大型店規制、それに、経営近代化への脱皮などをすすめて参りたいと存じます。

＜知恵袋を出し合って＞

確かに私は市政執行の責任者であります。しかし、私の知恵だけで大館市政の発展を求めることは不可能なことです。

私よりも優れた創意性、能力をおもちの市民、職員、そして議員さんがたくさんおられます。この市民の皆さんの創意性を、あらゆる機会において対話の中から求め市政執行の中に活用させていただくことこそ、市勢発展の前提だと存じますので、どうぞ市民の皆さんの知恵袋をお貸ししていただきますようお願い申し上げます。

＜無限の可能性を求めて＞

現実の中に埋没してしまいますと展望も前進もありません。現状に固定してしまわないで、原因と背景の中か

ら新しい発想をもって現状打開を求めて行かなければならないと存じます。

その場合に大切なことは、過去と現状つまり経験と体験だけに頼り過ぎることなく、その中から教訓を引出しこの教訓と新しい発想とを結合させることだと存じます。そのためには、老いも若きも、男も女も参加し、討議し、その中から生まれる合意が必要だと思ひます。この合意の中には無限の可能性が秘められておりますし、そこにこそ市勢発展の根本が存在するものと考えます。

＜発意と積極性を求めて＞

「誰かがやってくれる」、「そのうちに……」こんな依存と時間待ちが私たちの生活環境の中にどれだけ多いことでしょうか。

この「依存」と「時間待ち」がどれだけ発展や前進の障害になっていることでしょうか。

私は、これとは逆に「発意と積極性」が生まれる市役所をつくらなければなりません。無気力な職員であってはなりませんし、市民と接触する態度や姿勢も転換しなければなりません、何よりも自らが「発意と積極性」を持たなければならないのです。

窓口でも常に解放感が溢れ、明朗で市民誰もが参加してみたいくなるムードをつくらなければなりません。そういう私と市民、職員と市民の「心のかよう」、「信頼関係」の市政実現に日々努力を重ねてまいりたいと存じますので、どうか、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。終りに市民皆様の御健勝を祈念致しまして就任のごあいさつといたします。



6 月

陰暦異名・水無月(みなづき)

花 暦・花菖蒲くよいおとずれ

誕生石・パール<健康・長寿>

1日(金)・気象記念日(気象庁)

・電波の日(郵政省)

・水道週間(～7日・水道課)

・かけ崩れ防災週間(建設省)

3日(日)・長木川クリーンアップ作戦

・田代岳山開き(田代町)

4日(月)・十和田山開き(小坂町)

・歯の衛生週間(厚生省)

5日(火)・環境週間(～11日・環境庁)

7日(木)・計量記念日(通商産業省)

・合同金婚式(市民体育館)

10日(日)・時の記念日

・民謡民舞全県決勝大会及び

郷土民謡全国大会県予選

(市民体育館)

11日(月)・入 梅

13日(水)・ふけの湯金勢大明神祭

(鹿角市)

16日(土)・美しい環境づくり市民対話

集会(中央公民館)

17日(日)・父の日

25日(月)・らいを正しく理解する週間

(～7月1日・厚生省)

・銀山祭典仮装行列(阿仁町)

28日(木)・貿易記念日(通商産業省)

今月号から「広島時記」のコーナーを設けました。その月の大館、北秋、鹿角の主な行事をはじめ、政府の広報行事についてお伝えしてまいりたいと思います